

骨接合手術手技勉強会（第3回・4回）報告

善家 雄吉

平成23年9月に第1回が開催され、これまで計4回の本勉強会を開催することが出来ました。少しずつではありますが、整形外科における外傷治療の中の重要な位置を占める骨接合の基本コンセプト・手技というものが若手の先生方を中心に浸透してきているのではないかと考えております。まだまだ発展途上の勉強会ではありますが、今後も年2回ずつ継続して開催して参りたいと存じます。ご協力を宜しくお願い申し上げます。

第3回（ベーシックコース）テーマ；AO法の原理原則

会期 2012年09月08日（土） 13：30～18：10

会場 産業医科大学2号館 （2201・2208講義室）

<プログラム>

- ・イントロダクション<開会ならびに勉強会概要> 善家（産業医大）
- ・術前計画と心構え 福田（北九州総合病院）
- ・スクリューとプレートの仕組み 佐羽内（産業医大）
- ・テンションバンド固定 田島（産業医大修練医）

休憩

- ・conventional plating 山中（産業医大）
- ・LCP & MIPO法 古子（産業医大若松）
- ・創外固定法 田中秀（健愛記念病院）
- ・髄内釘固定法 藤谷（産業医大修練医）
- ・脆弱性骨折に対する治療法 -フォルテオ-（日本イーライリリー）
- ・総括・質疑応答 大茂（戸畑共立病院）

<ワークショップ>

1. lag screw technique, 2. conventional plating, 3. tensionband wiring,
4. LCP&MIPO（デピューシンセス）

奇数回はベーシックコースということにしており、第1回目とプログラムの大きく変更はありません。但し、今回は同門外講師を招聘せず、自前の講師

陣（特に若手医師の講師への起用）のみでのラインナップを目指しました。他人に如何に分りやすく教えるかということはとても大事なことです。結構難しいものです。このような機会を利用して自らも **brush up** していければ幸いです。第3回は幹事の私の不手際により、全体の集合写真を撮り忘れてしまいました（残念）。勉強会終了後には、医局カンファレンス室で懇親会を行いました。同日はちょうど他大学卒業生に対する入局説明会もありましたので、その後は途中で合流し、にぎやかな二次会となりました。

第4回（アドバンスコース）テーマ；上腕骨における治療戦略

会 期 2013年03月23日（土） 13：30～18：00

会 場 産業医科大学病院1号館 （2201・2202講義室）

<プログラム>

- ・ イントロダクション<開会ならびに勉強会概要> 善家（産業医大）
- ・ 私の手と手の外科 篠根（福岡新水巻病院）
- ・ 上腕骨の解剖・アプローチ 目貫（産業医大）
- ・ 小児肘周辺骨折の治療 戸羽（北九州総合病院）

休憩

- ・ 非定型大腿骨骨折の治療戦略 池田（健愛記念病院）*特別講演
- ・ 上腕骨遠位端骨折の治療 森谷史朗先生（岡山済生会病院）
- ・ 上腕骨近位端骨折に対する髓内定法 寺田忠司先生（福山市民病院）
- ・ 上腕骨に対する MIPO 法 島村安則先生（岡山大学）
- ・ 質疑応答 福田（北九州総合病院）
- ・ 総括 大茂（戸畑共立病院）

偶数回はアドバンスコースですが、今回のテーマは上腕骨としました。テーマ決定に関しては、毎回コース終了後に行う、受講生のアンケート結果をもとに協議して決めております。外部からは、「骨折治療の西の横綱」と目される岡山大学の先生方3人をお招き致しました。新進気鋭の今後の整形外科外傷分野を背負って立つような方達です。講義内容もとても分りやすく好評でした。篠根理孝先生の講演は、自らの **world wide** な体験談を赤裸裸に軽妙な語り口でして下さり、我々に計り知れない感動と刺激を与えてくれました。今後の先生の更なる飛躍を祈念せずにはられません。また、目貫邦隆先生は、講師陣の中で

唯一事前資料を作成して頂きました。ともすれば無味乾燥なテーマを、時には自分の3横指が5cmであるというインパクトなどを随所に与えてくれ退屈しませんでした。戸羽直樹先生には、小児肘周辺骨折の治療につきお話を頂きました。少子化の現在ではありますが、北九州地区で発生した小児肘周辺外傷の多くは先生のもとに集まっているのではないかと思える程、豊富な症例を呈示して下さいました。小児骨折のマイスターと呼ぶに相応しいのではないかと思います。更には特別講演としまして、日本イーライリリー協賛のもと、池田聡先生に非定型大腿骨骨折の治療戦略についてお話して頂きました。池田先生は、この分野においてもきっと **opinion leader** であると思われます。外部からの招聘講師の先生方もとても勉強になったと言われておりました。お忙しい日常業務の中、快く講師の役をお引き受け下さり誠に協力有り難うございました。最後には恒例となりました大茂壽久先生の「総括」ですが、これは、その日の内容をダイジェスト版でスライド披露するという離れ業です（講演中にスライドを作成する訳です）。1分間に数回の笑いを入れるという高等テクニックも織り交ぜつつのプレゼンテーションはそろそろ神がかってきております。今後も懲りずに継続して下さいようこの場を借りてお願い申し上げます。

図1 戸羽直樹先生

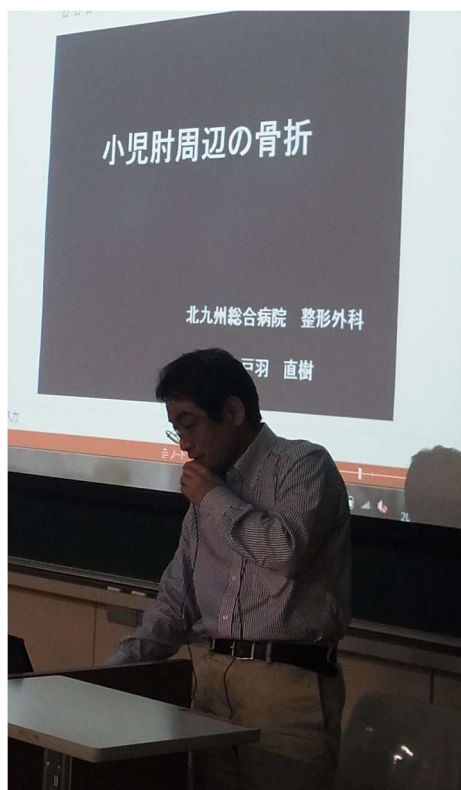


図2 池田聡先生



図3 岡山済生会病院 森谷史朗先生 図4 福山市民病院 寺田忠司先生



図5 岡山大学 島村安則先生



図6 熱心に講義に聞き入る受講生たち



図7 セミナー終了後集合写真

